

<2016年科学者集会サーキュラー 7月12日>

原水爆禁止 2016年世界大会・科学者集会 in 横須賀  
& 横須賀軍港フィールドワーク

核兵器廃絶のために市民・科学者は何をなすべきか

■集会：2016年8月1日（月）10:00～17:00

神奈川県 横須賀市 生涯学習センター大学習室（ウェルシティ市民プラザ5F）  
（京急逸見駅徒歩5分・JR横須賀駅徒歩5分）

■フィールドワーク：8月2日（火）9:30～12:00

神奈川県 横須賀市 産業交流プラザ第1研修室（よこすか芸術劇場内3F）  
（京急汐入駅徒歩1分・JR横須賀駅徒歩8分）

■主催：2016年原水爆禁止世界大会・科学者集会 in 横須賀実行委員会

■集会よびかけ

2016年の「原水爆禁止 2016年世界大会・科学者集会（以下、科学者集会）」が、「核兵器廃絶のために市民・科学者は何をなすべきか」をテーマに、横須賀で開催されることになりました。科学者集会はさまざまな専門家と市民・学生のみなさんが原水爆禁止や関連する平和軍事問題などについて忌憚なく議論することを目的としています。

核開発は、廃棄どころか横にも縦にも拡散しています。北朝鮮は新たな核保有国になろうとしています。他方、米軍の核の傘に入りながらも、片一方の核からの「防衛」を目指すミサイル防衛システムが配備されるなど、核に関わる軍事技術はより精緻なものとなっています。また、軍学共同の足音が忍び寄るにもかかわらず、多くの研究者が軍事研究に対して毅然とした態度をとることを躊躇するという状態です。

グアムで B52 が墜落しました。このベトナム戦争の遺物のような爆撃機が今も現役でグアムに前進配備されるのは、核弾頭が搭載可能だからです。沖縄では、20歳の女性が殺されました。逮捕された被疑者は元海兵隊員の軍雇用員です。基地の密集する沖縄での事件ですが、これは基地の街横須賀でも、そして米軍の出撃先でも起こりうる問題です。

原子力空母母港化に関するアンケートで、横須賀市民の49.7%が空母配備に反対し、賛成は13.7%に過ぎなかったにもかかわらず、日米両政府は横須賀港を原子力空母ロナルド・レーガンの母港としました。2016年には戦争法関連法が施行され、横須賀は、米軍と自衛隊の一体化が進む最前線の一つとなっ

てしまいました。  
第9回NPT再検討会議において最終文書採択を妨害したアメリカが、オバマ大統領の広島訪問を契機として、核兵器廃棄に積極的に寄与をすることを願います。また、日本政府に対して戦争法廃止を広範な市民の要求として推進することを、私たちは誓います。国会に提出された1200万の戦争法廃止署名に続き、この集会在市民と科学者の連帯の場となることを願うものです。様々な分野の皆さんのご参加、ならびにご支援をお願いします。

（原水爆禁止 2016年世界大会・科学者集会 in 横須賀 実行委員会一同）

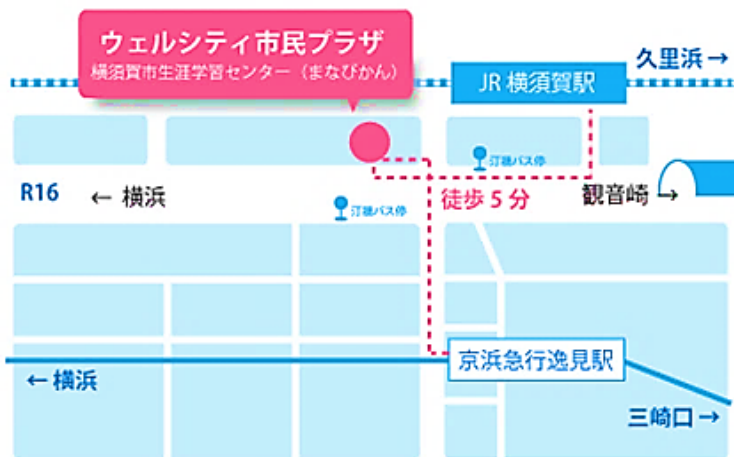
原水爆禁止 2016 年世界大会・科学者集会 in 横須賀  
～核兵器廃絶のために市民・科学者は何をなすべきか～  
2016 年 8 月 1 日 (月) 10:00～17:00

◆プログラム◆

- ・ 「開会の言葉」 萩原伸次郎 (横浜国大名誉教授)
- ・ 「軍学共同反対の動きと核廃絶への道」 池内了  
(世界平和アピール七人委員会・名古屋大学名誉教授)
- ・ 「いま、市民であること」 林田光弘 (SEALDs・明治学院大学院生)
- ・ 「空母の寄港状況～映像紹介と防災対策～」 沢園昌夫  
(原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会)  
～お昼休憩～
- ・ 「(仮) イギリスにおける反核平和運動 - トライデントミサイル更新反対運動」  
Carol Turner (Campaign for Nuclear Disarmament)  
「隠された大地震」 蟹江康光  
(元横須賀市自然・人文博物館学芸員、シオ神奈川代表)
- ・ 「戦争法の下での日米同盟再編～沖縄・横須賀」  
亀山統一 (JSA 平和問題研究委員会)
- ・ 「ミサイル防衛とは？」 泥憲和 (元自衛官)
- ・ 「2000 万人統一署名への横須賀市民の取り組み」 岸牧子 (横須賀市民九条の会)
- ・ 「総合討論」



原子力空母ロナルド・レーガン (アメリカ海軍ホームページより)



◆集会会場◆

ウエルシティ市民プラザ 5F  
横須賀市生涯学習センター大学習室  
(京急逸見駅徒歩 5 分・  
JR 横須賀駅徒歩 5 分)

◆集会資料代◆

1,000 円  
(学生・横須賀市民は 500 円)

※集会後は懇親会を予定しています  
(次面参照)

原水爆禁止 2016 年世界大会・科学者集会 in 横須賀  
 オプショナルツアー・横須賀軍港フィールドワーク  
 2016 年 8 月 2 日 (火) 9:30~12:00

科学者集会 2 日目は、軍港フィールドワークを開催します。横須賀には、アメリカ海軍第 7 艦隊の母港である横須賀海軍施設、海上自衛隊の横須賀基地が存在します。アメリカ海軍第 7 艦隊は、原子力空母ロナルド・レーガンを中心とし、揚陸指揮艦、イージス艦などで構成されます。海上自衛隊の横須賀基地には、アフガニスタン攻撃の際にインド洋に派遣された後方支援部隊が存在し、自衛隊と米軍の一体化の最前線となっています。

今回の軍港フィールドワークでは、日本平和委員会の専門家によるレクチャーを受けた後、軍港をめぐる船に乗り、日米艦船を間近に見学します。戦争法の成立、そして安倍政権が目指す憲法改正の足音が聞こえる中、「戦争できる国づくり」の実態を学ぶ機会とします。「百聞は一見にしかず」です。1 日目の集会と併せてのご参加、お待ちしております。

◆8月2日 横須賀軍港フィールドワーク◆

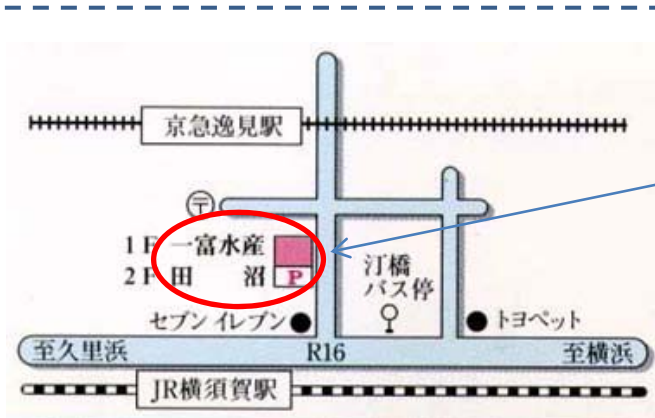
- 9:30 産業交流プラザ第 1 研修室に集合  
 鈴木和弘さん(日本平和委員会)による事前学習会
- 11:00 軍港内の見学(フェリーに乗ります, 約 45 分)
- 12:00 質疑応答の後, 解散

◆フィールドワーク集合会場◆

産業交流プラザ(よこすか芸術劇場内 3F)

◆フィールドワーク資料代・船賃◆

1,500 円



◆8月1日 集会後の懇親会◆

- 18:00 より
- 魚河岸料理 田沼  
 (集会会場より徒歩 3 分)
- TEL: 046-827-4836
- 会費 4,000 円程度を予定しています。
- 申込み用紙にご参加の旨をご記入ください

■参加申込・問合せ先

原水爆禁止 2016 年世界大会・科学者集会実行委員会

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9 階 日本科学者会議 気付

科学者集会 in 横須賀 実行委員会

萩原伸次郎(実行委員長)・西岡啓二(事務局長)・後藤仁敏・芝忠・鈴木和弘・鈴木勝久・鈴木陸郎・  
 惣田昱夫・中野広・亀山統一・佐藤克春

## 2016年 原水爆禁止世界大会・科学者集会 in 横須賀 参加申込書

(可能な範囲でご記入ください)

※当日参加もお待ちしております※

ご氏名(ふりがな)	勤務先・所属団体・肩書き, 専門分野など
ご連絡先 住所：〒  TEL: e-mail:	
ご参加・ご予約される項目を○で囲んでください。  1. 8月1日 10:00～ 集会の参加  2. 8月1日 昼食弁当(横浜名物のシウマイ弁当です お茶とセットで千円程度) ※会場近くの飲食店は少ないです  3. 8月1日 18:00～ 懇親会の参加(会場近くの海鮮料理屋です 4千円程度)  4. 8月2日 9:30～ 軍港フィールドワークの参加	
会場から発言を希望される場合, そのテーマなどをご記入ください。	
備考	

上記内容を FAX か E-mail でお知らせください。

送付先：原水爆禁止 2016 年 世界大会・科学者集会 in 横須賀 実行委員会

FAX : 03-3813-2363 E-mail : mail@jsa.gr.jp

(〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9階 日本科学者会議 気付)